

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第16週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (16週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。  
5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 1 例、百日咳 4 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	無症状病原体保有者	—
			90歳代	女	肺結核	発熱
		都城	90歳代	男	肺結核	咳、発熱、呼吸困難
		日向	40歳代	女	無症状病原体保有者	—
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	70歳代	女	—	ショック、肝不全、腎不全、DIC
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、咳、全身倦怠感、肺炎
	梅毒	日南	80歳代	男	無症状病原体保有者	—
		宮崎市	10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
	百日咳	都城	5~9歳	男	—	持続する咳
				女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
				女	—	持続する咳

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は849人(定点当たり25.2)で、前週比107%と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と伝染性紅斑及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと流行性角結膜炎である。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

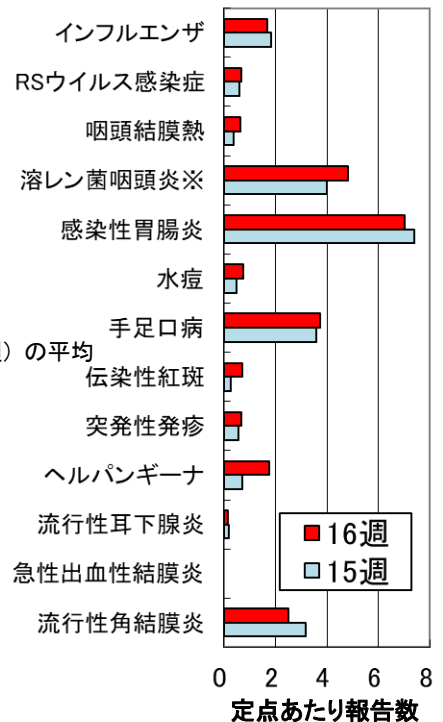
##### 【感染性胃腸炎】

報告数は246人(7.0)で、前週比95%と減少しており、例年同時期の定点あたり平均値\*(12.5)の約0.6倍である。日南(24.0)、高千穂(12.0)、小林(9.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では1~4歳が全体の約半数を占めている。

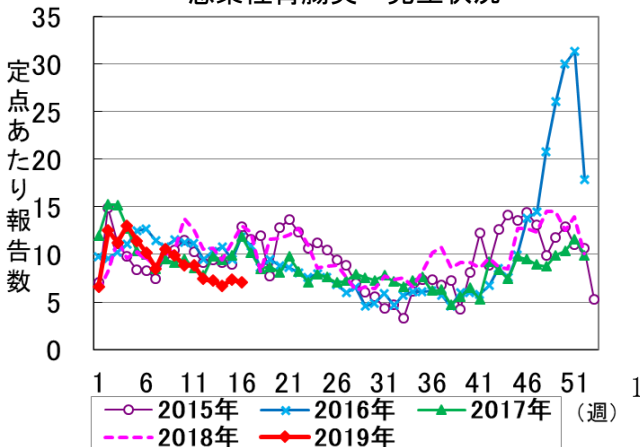
##### 【手足口病】

報告数は131人(3.7)で、前週比104%とほぼ横ばいであり、例年同時期の定点あたり平均値\*(2.1)の約1.8倍である。都城(12.7)、延岡(6.0)、中央(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では1歳が全体の約6割を占めている。\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

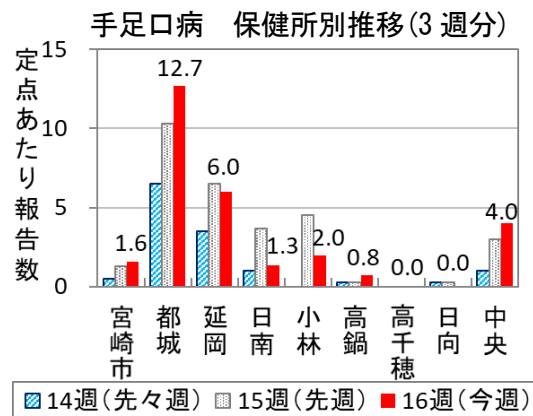
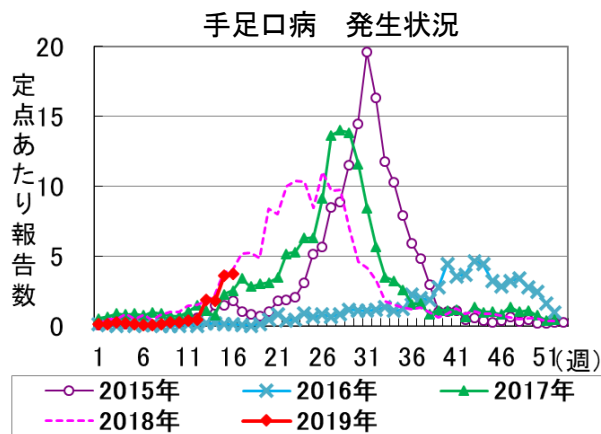
《前週との比較》



感染性胃腸炎 発生状況



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.1)
都城	手足口病(12.7)
延岡	手足口病(6.0)
日南	咽頭結膜熱(3.0)、 感染性胃腸炎(24.0)
小林	水痘(1.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	水痘(1.0)
中央	水痘(5.0)

\* 流行警報レベル開始基準値\*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・水痘(2.0)
- ・手足口病(5.0)

\* 流行注意報レベル基準値\*

- ・水痘(1.0)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成31年4月22日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	50歳代	男	2019.03.18	百日咳疑い、発作性咳嗽	咽頭ぬぐい液	2019.03.22
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4歳	男	2019.04.08	百日咳疑い、発熱(37.2℃)、咳嗽、哺乳低下	咽頭ぬぐい液	2019.04.09

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ヒトメタニューモウイルス	0~4歳	女	2019.03.04	不明熱、39.2℃、鼻水、咳	咽頭ぬぐい液	2019.04.10
パラインフルエンザウイルス3型	0~4歳	男	2019.02.27	急性気管支炎、38.8℃、下気道炎	鼻汁	2019.04.10
パラインフルエンザウイルス1型	0~4歳	男	2019.03.01	集団かぜ、41.0℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2019.04.10
パラインフルエンザウイルス1型	0~4歳	男	2019.03.02	集団かぜ、39.6℃、上気道炎、鼻水	咽頭ぬぐい液	2019.04.11
パラインフルエンザウイルス1型	0~4歳	男	2019.03.02	集団かぜ、39.1℃、鼻水、咳	咽頭ぬぐい液	2019.04.11
インフルエンザウイルスAH3	0~4歳	男	2019.03.11	インフルエンザA型、40.0℃、 下気道炎(気管支炎)、 胃腸炎(嘔気、嘔吐)	鼻汁	2019.04.11
インフルエンザウイルスAH3	30歳代	男	2019.01.24	インフルエンザA型、38.0℃、上気道炎、 鼻水	咽頭ぬぐい液	2019.04.11
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	女	2019.03.12	インフルエンザA型、40.0℃、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2019.04.11
インフルエンザウイルスAH3	5~9歳	女	2019.03.12	家族内濃厚な感染症、39.3℃、咽頭痛、 気管支炎	咽頭ぬぐい液	2019.04.11
インフルエンザウイルスAH3	0~4歳	女	2019.03.14	インフルエンザA型、39.0℃、 下気道炎(肺炎、気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2019.04.11
インフルエンザウイルスAH1pdm09	0~4歳	男	2019.03.19	インフルエンザA型、39.0℃、 下気道炎(気管支炎)、 上気道炎(咽頭炎)	鼻汁	2019.04.11
インフルエンザウイルスAH3	30歳代	男	2019.03.20	インフルエンザA型、39.0℃、 下気道炎(気管支炎)、 上気道炎(咽頭炎、咽頭痛)	鼻汁	2019.04.11
インフルエンザウイルスAH3	10歳代	男	2019.03.25	インフルエンザA型、38.6℃ 下気道炎(気管支炎)、 上気道炎(咽頭痛)	咽頭ぬぐい液	2019.04.11

○上下気道炎、鼻水症状のある幼児からパラインフルエンザウイルス1型・3型が検出された。パラインフルエンザウイルスは1型から4型に分類され、主に1型から3型が乳幼児において呼吸器症状を起こす。パラインフルエンザウイルスは年間を通して検出されるが、3型は春に多く見られるため今後の動向に注意が必要である。

○インフルエンザと診断された8名からインフルエンザウイルスが分離された。本県では今シーズンAH3が27件、AH1pdm09が22件、B型（ビクトリア系統）が2件検出されている。

## 🇯🇵 全国 2019 年第 15 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 15 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	346 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	11 例	腸チフス	1 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	10 例	エキノコックス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	2 例	デング熱	7 例
	日本紅斑熱	2 例	レジオネラ症	16 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	22 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例	後天性免疫不全症候群	17 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	45 例	水痘（入院例）	1 例
	梅毒	70 例	播種性クリプトコックス症	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例
	百日咳	191 例	風しん	64 例	麻しん	21 例

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 115%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎及び手足口病で、減少した主な疾患は流行性角結膜炎である。

RSウイルス感染症の報告数は1,652人(0.52)で前週比118%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.24)の約2.2倍である。徳島県(1.9)、和歌山県(1.7)、山口県(1.3)からの報告が多く、年齢群別では1歳以下が全体の約8割を占めている。

感染性胃腸炎の報告数は19,965人(6.3)で前週比118%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(5.9)の約1.1倍である。鹿児島県(9.6)、福岡県(9.0)、奈良県(8.9)からの報告が多く、年齢群別では1~4歳が全体の約半数を占めている。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

● 次回の感染症週報は祝日の関係上、5月10日発出となります。  
ご了承ください。

## 宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2019年 第16週(04月15日～04月21日)

疾病名		第15週	第16週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	107	97	10	14	40	9	3	13	3	2	3
	定点あたり	1.84	1.67	0.63	1.40	5.71	1.80	0.75	2.17	1.50	0.33	1.50
RSウイルス 感染症	報告数	21	24	13	2		2	1	2	1	3	
	定点あたり	0.60	0.69	1.30	0.33	0.00	0.67	0.50	0.50	1.00	0.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	13	23	3	5	3	9	1	1		1	
	定点あたり	0.37	0.66	0.30	0.83	0.75	3.00	0.50	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	140	169	81	10	16	16	2	26	1	11	6
	定点あたり	4.00	4.83	8.10	1.67	4.00	5.33	1.00	6.50	1.00	2.75	6.00
感染性胃腸炎	報告数	259	246	43	45	11	72	18	12	12	28	5
	定点あたり	7.40	7.03	4.30	7.50	2.75	24.00	9.00	3.00	12.00	7.00	5.00
水痘	報告数	17	27	8	2	1	2	2	3		4	5
	定点あたり	0.49	0.77	0.80	0.33	0.25	0.67	1.00	0.75	0.00	1.00	5.00
手足口病	報告数	126	131	16	76	24	4	4	3			4
	定点あたり	3.60	3.74	1.60	12.67	6.00	1.33	2.00	0.75	0.00	0.00	4.00
伝染性紅斑	報告数	10	25	11		7	5			1		1
	定点あたり	0.29	0.71	1.10	0.00	1.75	1.67	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	20	24	7	4	2	3	3			3	2
	定点あたり	0.57	0.69	0.70	0.67	0.50	1.00	1.50	0.00	0.00	0.75	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	25	62	13	28	10	2	5			4	
	定点あたり	0.71	1.77	1.30	4.67	2.50	0.67	2.50	0.00	0.00	1.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	7	6		4				2			
	定点あたり	0.20	0.17	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	19	15	13		2						
	定点あたり	3.17	2.50	4.33	0.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	3										
	定点あたり	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数

下段:定点あたり報告数

## ●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～16週)

2類感染症	結核	53例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例				
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	2例	チクングニア熱	1例
	つつが虫病	3例	レジオネラ症	2例		
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症	7例(1)
	梅毒	5例(1)	破傷風	1例	百日咳	89例(4)

( )内は今週届出分、再掲